

田丸先生の御退官によせて

内 藤 周 弼 (分光化学)

田丸謙二先生は昭和21年に本学理学部化学科を卒業後、横浜国立大学に勤められましたが、昭和38年に本学理学部化学教室に移られました。以来20年間化学反応学講座を担当され、特に固体表面での触媒反応の研究に幾多の顕著な業績をあげてこられました。先生が世界に先がけて提唱された「反応中の吸着量測定法」は、様々な表面解析手段の発展と相まって、ますますその応用範囲を広げようとしております。又、先生は教室主任・大学院主任・評議員、学部長、総長補佐など、行政面でも本学の運営に多大の貢献をされるとと

もに、日本化学会副会長を務められるなど、日本の化学のためにも尽力されました。

このように非常に忙しい身でありながら、一方で学生とテニスやサッカーを楽しまれる気さくさも先生の大きな魅力の一つであります。御退官後の先生は東京理科大学において教鞭をとられますが、さらにこの夏からは国際触媒学会の会長を務められることになっており、ますますの御活躍がうかがわれます。

御健康を心からお祈り申し上げます。

毎月 1 日は

「省エネルギー」

の日です。